



農業委員・農地利用最適化推進委員

【三根地区】	【大賀郷地区】	【檜立地区】	【中之郷地区】	【末吉地区】
磯崎典雄(農)	加藤純生(農)	伊勢崎武二(農)	金田可奈利(農)	冲山慶孝(農)
奥山利平(農)	菊池勝男(農)	磯崎正(農)	菊池家司(農)	青木保憲(農)
浅沼博之(農)	菊池寛(農)	笹本守彦(推)	金田秀彦(推)	浅沼幸友(推)
浅沼實(農)	菊池みゆき(農)			
浅沼隆章(推)	菊池睦男(推)			
	奥山光洋(推)			

あけましておめでとうございます。
農地の事で何かございましたら相談ください！
(農)＝農業委員 (推)＝農地利用最適化推進委員

農業関連調査における八丈町からのお願い

八丈町産業観光課産業係では、毎年農家を対象に、農作物の作付面積や生産量、栽培品目、今後の農業経営の意向等について調査を実施しています。

調査対象とさせていただいた方には、後日調査員が訪問しますので、ご理解とご協力のほどよろしく申し上げます。とりまとめた統計データは、八丈町の農業生産の実態把握や各種政策のための基礎資料とし、次のものなどに活用されています。(※個人の調査が目的ではなく、八丈町全体の統計数値を基礎データとして活用させていただきます。)

- 東京都農産物生産状況調査（東京都産業労働局農林水産部）
- 東京都の地域・区市町村別農業指標（東京都農業会議）
- 事業概要（東京都八丈支庁） ●農林水産省及び関東農政局の各種統計数値

趣旨をご理解いただき、調査へのご協力をお願いいたします。

○問合せ先：八丈町 産業観光課 産業係 電話 04996 (2) 1125 担当者 小宮山

老後の安心「農業者年金」

農業者年金は、農業者がより安定した老後を過ごすことができるよう国民年金に上乗せする公的年金です。加入条件である3つの要件を満たす農業者なら、どなたでも加入できます。

資料のお求め・お問い合わせにつきましては
八丈町農業委員会事務局（八丈町産業観光課内）
2-1125 へご連絡ください。

<加入条件>

- 20歳以上60歳未満の方
- 国民年金第1号被保険者（保険料免除者を除く）
- 年間60日以上農業に従事する方

◆農業者年金の特徴◆

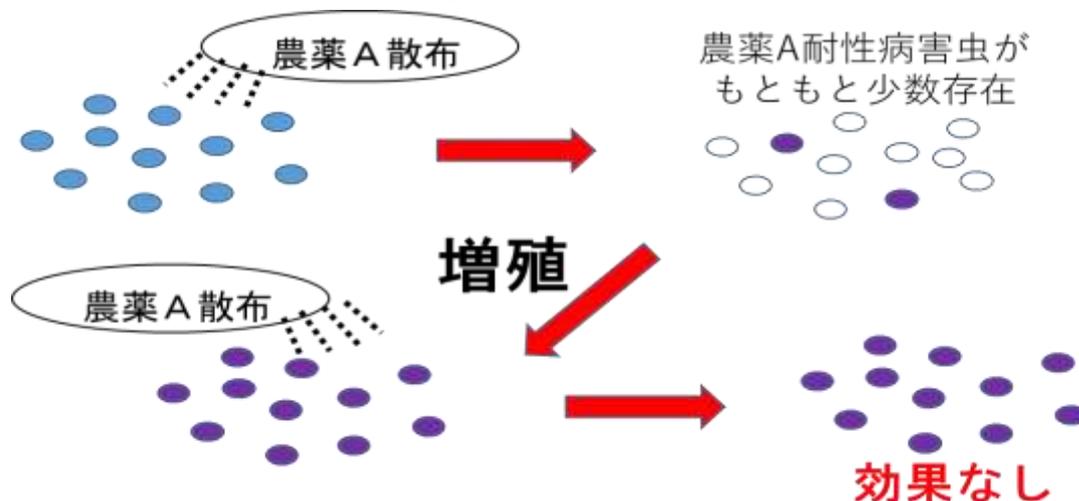
- ・終身年金80歳までの保証つき
- ・20歳から59歳までの間、加入・脱退が自由
- ・保険料額の自由設定・途中変更が可能
（月々20,000円～67,000円の任意設定の金額）
- ・税制面での優遇措置（納付額＝社会保険料控除）
- ・積立方式の確定拠出型年金のため、少子高齢時代にも安心

農薬のローテーション散布について

東京都島しょ農林水産総合センター八丈事業所普及指導センター

1 なぜ農薬に強い病害虫が出てくるのか？

病害虫防除に同じ農薬（同じ系統の農薬の組合せを含む）を使い続けると、防除効果が徐々に低下していきます。これは、病害虫の中にはある農薬に耐性を持つものがもともと少数存在していて、同じ農薬を使い続けることで、耐性のある病害虫だけが生き残り、増殖していくからです。

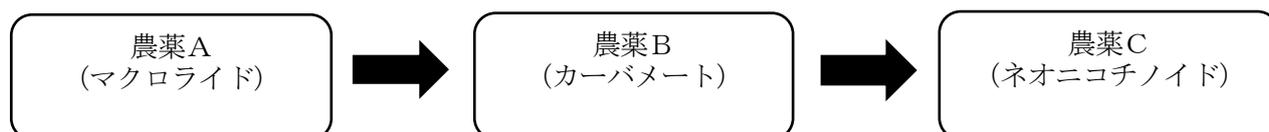


農薬耐性を獲得しやすい病害虫の特徴として、一世代が短く増殖率が高いことなどが挙げられます。主にハダニ類、アザミウマ類、アブラムシ類、カイガラムシ類などの害虫や、うどんこ病、べと病などの病気が農薬への耐性を持ちやすいといえます。

2 農薬のローテーション散布で効果的な防除を

農薬への耐性をつけさせない対策として有効なのがローテーション散布です。あらかじめ作用系統の異なる数種類の農薬を用意し、散布のたびに違う系統の農薬を使用します。系統の異なる農薬を交互に組み合わせることで、ある作用の農薬に耐性を持つ病害虫を別の作用で防除し、耐性を持つ病害虫を増やさない散布方法になります。

【ローテーション散布の例】



() 内は系統区分

最初に使用する農薬Aはマクロライド、次に使う農薬Bはカーバメート、最後の農薬Cはネオニコチノイド、という形で系統区分の異なる薬剤を組み合わせることでローテーション散布を行い、同じ作用性の農薬が続かないように防除計画を立てます。

3 病害虫を寄せつけにくい栽培環境を整える

農薬散布だけでなく、病害虫が発生しにくい栽培環境を整えることで、さらに防除効果が期待できます。日当たりをよくすることで作物が丈夫に育ち、風通しをよくすることで湿度が低下し病原菌の増殖を抑えることができます。また、周囲の雑草をこまめに取ることで害虫の住処を減らせるとともに、防虫ネットやマルチを使用することで害虫の侵入を防ぎ、雑草を抑えることができます。より良い栽培環境の整備を心掛けるとともに、適切な農薬使用で効果的な病害虫防除を行ってください。なお、農薬使用に際しては、ラベルの記載事項をよく読み、適用作物、希釈倍数（使用量）、使用時期、使用回数等を遵守してください。

農業委員会だより編集委員

沖山 慶孝 伊勢崎 武二 磯崎 典雄 菊池 勝男 浅沼 博之